

第2510地区 第11グループ



2010~2011

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2010~11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ



BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

2010~11年度
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

Ray Klinginsmith

阿部誠太 会長 テーマ —— ロータリー精神の初源に帰ろう ——



11月24日 卓話 財団米山委員会 山下 清司 委員長

《第2268回例会》 第19号 12月1日(水)

本日のプログラム

「クラブ年次総会」

★会長 阿部誠太

★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

(4)

財団独自の資金周期では、寄付は受領された3年後にプログラムのために使用されます。

(3) 個人に対する表彰

(山下例)

ポールハリスフェロー (1,000ドル寄付)

- 今までの個人寄付 (年100ドル分) 600ドル
 - クラブ認証ポイント 200ドル
 - 同額個人寄付 200ドル
- 理事会承認を得て

(会報担当者：新 博夫 副委員長)

<p>建物清掃管理業</p> <h1>株式会社 国際サービス</h1> <p>代表取締役 阿部 誠太</p> <p>〒040-0064 函館市大手町5-10 ニチロビル TEL(0138) 23-1408</p>
--

(広告掲載：阿部 誠太 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【11月30日現在のアクセス数：10900件(+40件)】

◎11月10日出席報告 (小河 博保 副委員長)

会 員	25名	出席率対象会員	25名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	20名	当日欠席	5名
他クラブ出席	3名	出席合計	23名
出席率			92.00%

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

<p>次回・12月8日 プログラム</p>	<p>卓話「手紙文化講座」</p> <p>前函館国際ホテル社長 岡田 要氏</p>
---------------------------	---

2010～2011〈第2267回例会〉第18号

11月24日の記録

◎司 会 阿部 誠太 会長 ◎齊 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ビジター 函館五稜郭R.C.千葉 孝志君、奥田 武彦君
七飯R.C.佐藤 幸雄君

◎会長報告 阿部 誠太 会長

○理事会報告

・蕨下会員退会の件

○2009-2010年度100パーセント「財団の友」会員クラブ（世界で669クラブ）の認証バナーと「毎年あなたも100ドルを」（世界で1,113クラブ）の認証バナーが届きましたのでご覧ください。

○次週12月1日は年次総会です。

○本日の健康診断は9名です。特別検査はP S A、尿から前立腺がんを調べます。



◎委員会報告

○深瀬 晃一 会員

インフルエンザの予防注射の実施について。

12月1日当会場で行います。尚、病院にてお受けになる方は先生に御連絡下さい。

◎幹事報告 増山 正 幹事

○クリスマス家族会の案内。

○札幌北RCよりニュースレダーが届いておりますので回覧いたします。

◎親睦活動委員会 増田 定雄 副委員長

ニコニコBOX 投入報告

山下(清)会員……本日卓話をいたしますのでよろしくお願い致します。

斎藤会員……本日の健診よろしくお願い致します。

小笠原会員・森 会員・南木会員、松橋会員……ニコニコボックスに協力。

新 会員・増田会員……健康診断を受けました。

渡部会員……弗田会員には会報作成にご協力いただいております、ありがとうございます。本日の写真もよろしくお願い致します。

◎卓話 「ロータリー財団月間にあたって」 財団米山委員会 山下 清司 委員長

(1) ロータリー財団のプログラム

ロータリー財団のプログラムには、3つの主な分野があります。

① 教育的プログラム

ロータリー財団は、教育的プログラムを通じて、学生や教育者、事業や専門職従事者が異国の文化を体験し、海外の人々と長年にわたる友情を培う機会を与えることによって、国際理解を推進しています。教育的プログラムを通じて、参加者は地元や海外の地域社会のニーズについて知り、それに取り組むためにロータリーが提供している機会について学びます。

教育的プログラムには以下のようなものがあります。

- 国際親善奨学金
- 研究グループ交換
- 平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター

② 人道的補助金プログラム

人道的補助金プログラムは、人道的プロジェクトを実施する目的でロータリー・クラブと地区に提供されるものです。奉仕のニーズや資金の選択肢により、マッチング・グラントや地区補助金を受けることができます。

③ ポリオ・プラス

国際ロータリーと財団が一体となって取り組むプログラム、ポリオ・プラスは、ポリオの撲滅を目標とする、ロータリーで最も有名なプログラムです。100万人以上の世界中のロータリアンが、ポリオ・プラスに米貨8億ドルの寄付を行ってきました。さらに、ロータリアンは、診療所を支援し、予防接種のために地域社会の人々を動員し、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどして、地元レベルにおける強力なボランティアのネットワークとして奉仕しています。

(2) ロータリー財団への寄付

ロータリー財団プログラムの財源は、世界中のロータリアンからの任意の寄付により成り立っています。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの補助金に上乗せするため、特別寄付として1クラブ1,000ドル/年を3年間行っています。

- ポリオ・プラスと「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」。
- 年次プログラム基金。「毎年あなたも100ドルを」
- 恒久基金

恒久基金はロータリーの基金であり、元金には一切手をつけることなく、その収益の一部のみが財団プログラムのために使われます。大口寄付、証券、遺贈、終身年金契約といったかたちで寄付することができます。

毎ロータリー年度末に、地区内の全ロータリー・クラブから寄せられた年次プログラム基金への寄付は、次の2つの基金に分けられます。

- 50パーセントが国際財団活動資金（WF）へ
- 50パーセントが地区財団活動資金（DDF）へ（グローバル補助金50%、地区補助金50%）

地区は希望する財団プログラムに資金を充当するため地区財団活動補助金（DDF）を使用します。